

| | | | | | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|--|----|-----|-------|-------------|
| 教科名 | 外国語 | 科目名 | 論理・表現 I | 履修学年 | 高校 | 1年 | 1～7 | 組 | |
| 単位数 | 2単位 | 使用教科書 補助教材等 | EARTHRI SE English Logic and Expression I Standard(数研出版) | | | | | | |
| 担当者 | 阿部(苗) | | 同ワークブック | | | | | | |
| 学習目標 | 中学校において育成したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」及び「書くこと」の三つの領域を中心とした発信能力の育成を強化する。特にスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標とする。また、毎回システム英単語の確認をし、語彙力を強化する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | | | | | | | | | |
| 評価観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む姿勢 | | | | |
| 評価規準 | 知識:日常生活における様々な場面や、社会的トピックに対する意見、主張を伝える上で必要な、基本構文(文法)が身についている。 技能:未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。 | | 実際に生活の中でよく使うような内容の言語材料に対し、インフォメーションギャップやロールプレイの活動を行いながら、課題解決のためのまとまりのある情報の整理・要約、発信ができる。徐々に社会的な内容に対する意見構築ができるようにする。 | | 日常生活における課題や、社会的問題に対する解決策などを考え、工夫を凝らしながら英語にて発信することができる。 | | | | |
| 各観点の授業内 評価方法等 | 定期考査 | | 定期考査 パフォーマンステスト | | 課題提出 パフォーマンステスト | | | | |
| 学期末の 各観点比率(%) | 60% | | 20% | | 20% | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容・学習単元・学習到達目標等 | | | | | 時間数 | 評価区分1 | 評価区分2 |
| 1 | 4 | Lesson1 Introduce yourself to your class <(S+V+C)/<(S+V+O)/<(S+V+O+O)/<(S+V+O+C)> ・クラスメートに名前と住んでいる場所、中学校のときのクラブ活動について質問し合う。 ・40語程度で自己紹介文を発信する。 「友だちを作る効果的な方法は何か」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べ、相手の意見も聞くことができるようになることを目標とする。 | | | | | 9 | 中間考査 | パフォーマンステスト① |
| | 5 | Lesson3 Where did you go on vacation? 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形 ・「これまで自分が訪れた場所の中で最もよかった場所」についてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・「旅行をするときにはどの交通手段を使うのが好きか」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べることができるようになることを目標とする。 (社会情勢により変更の可能性あり) | | | | | | | |
| | 6 | Lesson5 Would you like to come with me? 助動詞 would/could/may/should have/must have ・would/couldを用いて相手の意志を訪ねたり、勧誘する ・後悔をしたことについて30語程度で文を書く。 | | | | | 10 | 期末考査 | |
| | 7 | Lesson7 Do you do any volunteer activities? 不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/It is ... to do ~ ・自分が参加したいボランティア活動についてクラスメートとやりとりして、情報を伝え合う。 ・自分の将来についてのレポートを40語程度で書く。 ・「すべての高校において、ボランティア・デー(ボランティア活動を行う日)を設けるべきだ」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる | | | | | | | |
| | 8 | | | | | | | | |
| 2 | 9 | Lesson8 Let's enjoy school life! <(want+0(人)+to do) / <(see+0(人)+do) / <(let+0(人)+do) / <(make+0(人)+do)> ・部活動に関してクラスメートとインタビューし合う。・部活動に関するインタビューの会話をクラスで実演する。 ・学校行事に関するスピーチ原稿を40語程度で書く。 ・「夢の学校行事」「こんな学校があったらいいな」「TDUがもっと魅力的な学校になるには」などのテーマに対し、アイデアを出し、その内容を動画にて伝える。 | | | | | 8 | 中間考査 | パフォーマンステスト② |
| | 10 | Lesson 9 Are you eco-friendly? 動名詞(主語になるもの/目的語になるもの/前置詞の目的語になるもの)/動名詞の否定形 ・環境保護のためにできることについてクラスメートとやり取りして、情報を伝え合う。 ・環境保護についてのスピーチ原稿を40語程度で書く。 | | | | | | | |
| | 11 | Lesson10 What sports do you like? 分詞 ・現在分詞と過去分詞の使い方を学ぶ。 ・ExcitingとExcitedを使用し、スポーツについてのブログを書く(40語)。 | | | | | 10 | 期末考査 | |
| | 12 | Lesson11 That's new to me! <(see+0(人)+doing) / <(have+0(物)+done) /分詞構文 ・さまざまな国の労働時間や祝日の数についての情報をもとに、クラスメートとやり取りしてその情報を伝え合う。 ・野菜とくだもの違いについてのパラグラフを40語程度で書く。 ・「社会において健康を維持し、ストレスを軽減するための最善の方法は何か」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べ、内容を動画にて伝える。 | | | | | | | |
| 3 | 1 | Lesson12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 関係代名詞 ・関係代名詞を用いて、ノーベル賞受賞者について話し合う。 ・自分が尊敬する人について30語程度で書く。 | | | | | 10 | 学年末考査 | パフォーマンステスト③ |
| | 2 | Lesson13 I'm interested in history when, where, how(関係副詞) ・歴史上の偉人についてクラスメートとやり取りして、情報を伝え合う。自分が選んだ歴史上の偉人について30秒程度で発表する。 ・日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを40語程度で書く。 | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|------------------|---|---|--|-----------------------------|---------------|----|---------|---------------|---------------------|-----------------------------|
| 教科名 | 英語 | 科目名 | 英語コミュニケーション I a/b | 履修学年 | 中学・ 高校 | 1年 | 1～7 組 | | | |
| 単位数 | 3(a)+1(b) | 使用教科書 補助教材等 | Revised ELEMENT English Communication 1・Revised ELEMENT English Communication 1 WORKBOOK STANDARD | | | | | | | |
| 担当者 | 宮岡 濱口 Walls / Hamontree | | システム英単語5訂版・システム英単語5訂版 For Starters・Listening Box 2-3(別冊回答あり) 英語長文演習 Applause vol. 1-3 <3訂版>・GELP | | | | | | | |
| 学習目標 | 以下3点を意識し、大学入試に対応できる英語力を育成する。①音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。②日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。③英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | | | | | | | | | |
| 評価観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む姿勢 | | | | | | | |
| 評価規準 | 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的话题や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 | | | | | | | |
| 各観点の授業内 評価方法等 | Ia: 定期テスト、シス単テスト Ib: パフォーマンステスト Ia, Ib: 授業内の言語活動 | Ia: 定期テスト、パフォーマンステスト Ib: パフォーマンステスト Ia, Ib: 授業内の言語活動 | Ia: 課題提出、GELP取り組み状況、パフォーマンステスト、音読テスト Ib: パフォーマンステスト Ia, Ib: 授業内の言語活動・授業態度 | | | | | | | |
| 学期末の 各観点比率(%) | 35% | 35% | 30% | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容・学習単元・学習到達目標等 | | | | | 時間 数 | 評価 区分 1 | 評価 区分 2 | |
| 1 | 4 | Lesson 1 "Turning Over a New Leaf" | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ELEMENT 取扱い範囲 Ia: Reading / Comprehension(Language Function) Ib: Listening / Comprehension (Graphic Organization, Main Idea, Details, Deeper Understanding, Retelling) / Speaking & Writing </div> | | | | | | 1 学期 中間 考査 | 到達 度 テ ス ト ① |
| | 5 | Lesson 2 "Love beyond Species" | | | | | | | | |
| | 6 | Lesson 3 "Contributing to Our Planet" パフォーマンステスト ① | | | | | | | | |
| | 7 | Lesson 4 "Message for World Peace" | | | | | | | | |
| 2 | 8 | | | 1 学期 期 末 考 査 | | | | | | |
| | 9 | Lesson 5 "Fashion and Sustainability" | | | | | | | | |
| | 10 | Lesson 6 "Reaching Out to Others" | | | | | | | | |
| | 11 | Lesson 7 "The Wonders of Language" パフォーマンステスト ② | | | | | | | | |
| 3 | 12 | Lesson 8 "Passing Down Cultural Treasures" | | 2 学期 期 末 考 査 | | | | | | |
| | 1 | Lesson 9 "Technology and Discoveries" | | | | | | | | |
| | 2 | パフォーマンステスト ③ | | | | | | | | |
| | 3 | | | 学 年 末 考 査 | | | | | | |